

7. ステンレス製具において、ステンレス鋼板の曲げ加工は普通曲げ又は角出し曲げとする。
 また、 で、切込み後の板厚が mm以下の場合、裏板を用いて補強する。各部材の組立は、水掛りを除き、面内胴付き部を小ねじ又は 留めとすることができる。

	a	b	c
①	角出し曲げ	1.0	溶接
②	角出し曲げ	1.0	溶接
③	角出し曲げ	0.75	ボルト
④	普通曲げ	0.75	ボルト
⑤	普通曲げ	0.75	ボルト

8. フローリング張りの直張り工法は下張り用床板を張った上に、接着剤を併用して、フローリングを釘で留め付ける。フローリングはフローリングボード（直張り用）又は複合フローリング（直張り用）とする。

下張り用床板（根太間隔300mm程度）の合板は、厚さ mmとし、受材心で突き付け、乱に継ぎ、釘打ち又は木ねじ留めとする。また、パーティクルボードは、厚さ mmとし、受材心で2～3mmの目地をとり、乱に継ぎ、釘打ち又は木ねじ留め、留付け間隔は、継手部150mm程度、中間部 mm程度とする。

	a	b	c
①	12	15	150
②	12	15	200
③	15	20	200
④	15	20	250
⑤	15	20	250

問題6 次つぎの1.から3.の各法文において、 に当てはまる正しい語句又は数値を、下の該当する枠内から1つ選びなさい。

1. 建設業法（主任技術者及び監理技術者の職務等）

第26条の4 主任技術者及び監理技術者は、工事現場における建設工事を適正に実施するため、当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理及び当該建設工事の施工に従事する者の技術上の の職務を誠実に行わなければならない。

2 工事現場における建設工事の施工に従事する者は、主任技術者又は監理技術者がその職務として行う に従わなければならない。

①	<input type="radio"/> ① 管理 <input type="radio"/> ② 監理 <input type="radio"/> ③ 指導 <input type="radio"/> ④ 監督 <input type="radio"/> ⑤ 指導監督
---	--

②	<input type="radio"/> ① 指導 <input type="radio"/> ② 監督 <input type="radio"/> ③ 管理 <input type="radio"/> ④ 監理 <input type="radio"/> ⑤ 指導監督
---	--